

JAPAN ICOMOS / INFORMATION

INTERNATIONAL COUNCIL ON MONUMENTS AND SITES

JAPANESE NATIONAL COMMITTEE 日本イコモス国内委員会

6期—12号

CONTENTS ♣

はじめに／前野まさる 01

From the President / Masaru MAENO

2006 年次第 3 回拡大理事会報告(9/16)／赤坂 信 02
Reports of the 3rd Meeting of the Executive Board, 2006
Makoto AKASAKA

ICAHM の日本語訳について／小野 昭、岸本雅敏 05
On the Japanese translation of ICAHM
Akira ONO, Masahiro KISHIMOTO

文化的景観 ISC イコモス・イフラの報告／杉尾伸太郎 06
Report of the International Scientific Committee
Cultural Landscapes ICOMOS-IFLA / Shintaro SUGIO

考古遺産管理 ISC：西安総会以後の動き／小野 昭、岸本雅敏 06
ICAHM : Current situation after the Xi'an General Assembly
Akira ONO, Masahiro KISHIMOTO

第 15 回国際木の委員会報告／伊藤延男、土本俊和、本田智子 07
Report of the 15th IWC
Nobuo ITO, Toshikazu TSUCHIMOTO, Satoko HONDA

歴史的建築物の構造補強と解析に関するISC活動報告／花里利一 09
Report of ISCARSAH on Structural Reinforcement and the Analyses of Historic Buildings / Toshikazu HANAZATO

「西安宣言」1 周年記念の国際シンポジウム開催される／西村幸夫 10
International Symposium for the First Anniversary of the "Xi'an Declaration" / Yukio NISHIMURA

文化遺産と都市開発の課題検討小委員会報告：鞆と白川について 10
益田兼房
Reports on Tomo and Shirakawa by the Working Group of
"Cultural Heritage and City Development" / Kanefusa MASUDA

お知らせ 12
Announcement

事務局日誌 14
Diary



2006.12.09

はじめに
前野まさる



早いもので、今年も残りが少なくなってまいりました。今年には昨年原爆ドーム、鞆の浦問題を引かず、さらに ICOMOS では SETTING の問題が厳しく論議されるようになってまいりました。広島原爆ドームのバッファゾーン内高層建築問題も、日本イコモス国内委員会は今年5月16日に懸念表明を広島市と議会にいたしました。広島市もバッファゾーン内の高さ規制を検討している中で、またも前記建築のそばに中層建築が建てられようとしている由です。

イコモスの世界遺産審査でも世界遺産の SETTING や管理運営については厳しく、チェックしています。世界遺産は観光資源として強力なため、ついつい力をかけ過ぎ、世界遺産の環境や住民生活を損なう事例が伝えられています。地方都市の都市景観条例、都市計画条例などと世界遺産のコアゾーン、バッファゾーン条件との整合性を得ない状態のものもあり、問題になった事例もありました。こうした点を指摘するのもイコモスの役割かとも感じています。

今年の12月で日本イコモス国内委員会の委員長、理事、監事の3年間の任期は終わります。次期の方々に多くの宿題を残したのは心残りではありますが、3年間ご苦労さまでした。